

# 桜塚高等学校 部活動に係る活動方針

平成31年2月末日

## 1. 部活動の目的

部活動は、生徒の多様な学び場として、学習意欲の向上や異年齢との交流での責任感、生徒同士や生徒と教師等との連帯感、人間関係の構築等の涵養に資するものであり、単に、知識・技術・競技力を向上させるだけでなく、多様な活動・経験を通して、人間的な成長をめざすことを目的とする。

## 2. 運営について

- (1) 顧問が中心となって年間の活動計画並びに毎月の活動計画を作成し、計画的な活動を行うとともに、生徒の安全かつ有意義な活動が出来るように保護者の理解と協力を求める。
- (2) 部活動顧問は複数で担当し、過度の負担が生じないようにする。

## 3. 休養日及び活動時間の設定について

- (1) 休養日は週1日以上設定（ノークラブデーの設定）し、学校全体で部活動を行わない日（定期考査期間等）を含め、部ごとに年間で104日以上とする。
- (2) 週末の休養日は原則として月当たり2日以上となるよう設定する。ただし、対外試合等で困難な場合は平日の休養日を増やすなどの対応を行う。
- (3) 1日の活動時間は、平日では2時間程度、学校の休業日は4時間程度とし、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的な活動を行う。
- (4) 学校の休業日に練習試合等で4時間以上の活動となる場合は、生徒の健康管理に十分配慮して、休憩時間を適切に設定し、無理のないよう活動するとともに、その後に休養日を設けるなど、学校生活に支障のないように配慮する。

## 4. 指導について

- (1) 部活動の指導に当たって、体罰は、いかなる理由があっても、決して許されるものではない。また、威圧的な言動等による指導によって、生徒の自発性を損なうことの無いよう考慮して指導に当たること。
- (2) 適切な指導方法、コミュニケーションの充実等により、生徒の意欲や自主的、自発的な活動を促す。

## 5. その他

- (1) 事故の未然防止のため、施設・設備の点検を定期的を実施する。
- (2) 無理のない安全な活動メニューを心掛け、自主的に行うことを基本とする。
- (3) 大会参加や練習試合等については、日程等を十分に考慮し、過度な負担とならないようにする。